

秦野市立大根小学校

研究テーマ：主体的に考えることを楽しむ おおねっ子の育成
～子どものことばでつながる授業を目指して～

1、実践の目的

本校は学校目標である「かしこく やさしく たくましく 生きる大根っ子の育成」の具体目標「才 創造的な知性と基礎的な能力を身につけ、自ら学び、考え、かしこく行動する子どもを育てます。」に焦点を当て、「主体的に考えることを楽しむおおねっ子」の姿を目指した授業づくりに取り組んできた。

令和2年度は、「目指すおおねっ子像」を発達段階に応じて具体化し、「おおねっ子の花」【図1】を作成した。

令和3年度は、研究を継続して実践を積み上げ、考えることについての児童アンケートの結果から児童の変容を探った。また、思考力の見取り方について、ノート記述を手がかりにしてどのように評価するか、その方法についての検討を行った。

こうした研究の取り組みから、『おおねっ子の花』を各学級の実態に合わせて活用し、教員全体で授業展開の共通意識をもって取り組めるようになってきた」といった成果を得ることができた。

一方で、「おおねっ子の花」の活用が個々の教員経験や力量によって左右されてしまったことが課題としてあげられた。また、思考力の評価について、授業実践を積み上げながら評価の目を養っていく必要があるという声が教員から聞かれた。

そこで令和4年度は、「おおねっ子の花」の活用例の共有、思考力の育成と評価の視点を生かした授業実践の積み上げを目的として研究を進めることとした。

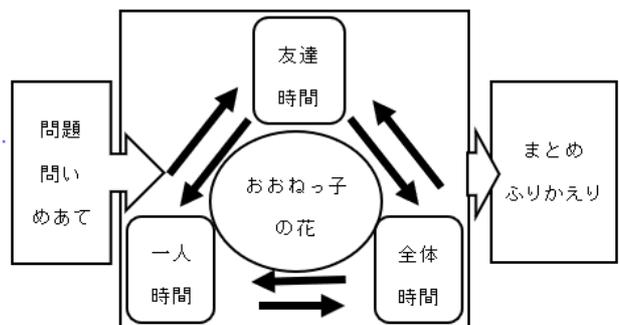


【図1】「おおねっ子の花」

2、実践の内容

(1) 授業づくりの研究について

- 「おおねっ子の花」を活用し、子どものことばでつながる授業を行った。また、「思考・判断・表現」を育成する授業において、全学年で【図2】のような授業展開で行った。



【図2】考える学習における基本的な授業展開

○授業づくりの視点として、以下の5点を意識しながら取り組んだ。

- ・児童が考えることを楽しめるような教材選び、導入や問いの工夫
- ・考える時間（一人で考える時間、話し合う時間、書く時間）の保障
- ・どの段階で児童の理解を「そろえる」のかを意識した授業づくり
- ・教師の出どころを意識した授業展開
どうする・どうして・なぜ・わけは
- ・考えを明確にすることを意識した指導
だから・どうして・どういうこと

○授業実践は、算数科でおこない、全学年で授業を実施した。

月	学年	教科・単元名
6	4年	算数科 「垂直・平行と四角形」
9	6年	算数科 「円の面積」
11	5年	算数科 「図を使って考えよう」
	1年	算数科 「ものとひとのかず」
12	2年	算数科 「三角形と四角形」
2	3年	算数科 「□を使った式」

※横浜国立大学教育学部教授の池田敏和先生に2回ご参観いただき、指導・講評をいただいた。

(2) おおねっ子の花の活用について

4月に低・中・高ブロックで集まり、「おおねっ子の花」の活用についての情報交換をおこなった。また、指導案に授業内でどのように活用するのか書く欄を作り、随時、職員全体で共有できるようにした。

(3) 児童の変容を捉えるための分析

今年度も引き続き「考えること」に関するアンケート調査を実施(5月・1月)し、児童の変容を追っていった。なお、1年生については、5月の実施が難しいことから、1学期中で実施可能な時期にアンケートを行うこととした。

3、実践の成果

「おおねっ子の花」については、4月に各ブロックの先生方で集まり、お互いの実践やアイデア等の活用方法について話し合った。

児童一人ひとりが「おおねっ子の花」にマグネットを貼り、目標設定するアイデアも生まれ、各学級の実態に合わせて活用の幅が広がった。

授業実践については、教員全体で授業展開の共通意識をもち、実践を積み上げることができた。また、各教室に【図2】を掲示することで、今どの時間（一人時間、友達時間、全体時間）なのかを分かるようにした。

子どもたちから「〇〇時間がほしい」といった声も聞こえ、子どもたちの中に考える学習における基本的な授業展開が定着していった。

児童へのアンケート結果については、「考える」「考えを聴く」の2項目において、肯定的な回答が8割を超えた。「思考力」については、昨年度に得たノート記述を評価する視点を生かしながら授業実践を積み上げることができた。

4、今後の展開

「おおねっ子の花」「考える学習における基本的な授業展開」については、確実に定着してきており、また成果を実感することが出来た。今後も、教員全体で活用の情報共有を行い、活用事例の蓄積をしていきたい。

一方で、授業観察で評価をする際、「どのような姿だと思考力が高いといえるか」等、適正な評価の考え方についての課題が残った。次年度の研究テーマ等については、まだ未定ではある。しかしながら引き続き思考力・判断力・表現力等を見取る視点については校内で検討していく必要があるだろう。